

OPEN FACTORY

オープンファクトリー（工場見学）開始

2011年3月より毎週金曜日、ホーチミン市のタトンカ製造工場では、一般の見学者を受け入れています。購買部の2名のスタッフが毎週金曜日10時よりスタンバイしています。ラン・アンとニ・ハの2人の若いベトナム人女性が案内役を務めます。見学者の工場案内を楽しみに、皆様をお待ちしています。1時間半の工場見学では、彼女たちが英語で案内し、訪問者からの質問にも答えます。

このプロジェクトは、エンドユーザー（消費者）にタトンカ社の環境に配慮した社会への取り組みを知ってほしいという趣旨で始められました。プロジェクトの詳細はWWW.OPENFACTORY.TATONKA.COMをご覧ください。工場見学希望ご希望の方は、ホームページ上から登録できます。タトンカの商品下げ札にはこのプロジェクトが紹介されており、この業界において、このような取り組みを行っているブランドは他にありません。



タトンカ製品についてまだよく知らない人でも、タトンカ社の製造現場を見れば、タトンカブランドに信頼を持つことができるはずです。タトンカの「マウンテック製造工場」は民間の監査機関によりSA8000ソーシャルスタンダードの認証を受けており、それは、タトンカの製造工場が労働者の人権と労働環境に配慮した社会的責任を果たしていることを証明します。

Bavarian mountain rescue service

バイエルン山岳救助サービス

バイエルン山岳救助隊は、バックパック作りに卓越したパートナーのタトンカ社が製造するバックパックを、15年以上もの長い間使用し続けています。

非常に有益な両者の関係は長い年月をかけて築かれたものです。山岳救助隊からのさまざまな意見は継続的に商品開発に反映されています。経験豊富な山岳救助隊メンバーと共同で開発されたバックパックは、実際に山岳救助隊により緊急用バックパックとして使用されています。サイズやカラー（山岳救助隊カラーであるレッド/ブルーを使用）は救助隊用

にカスタマイズされています。さらに、(ザイルを使った懸垂下降時使用する) 取り外せるヒップベルトが付いた登山用バックパックも開発されました。機能的なデイパックも現場での救助活動をサポートしています。



2011年、ドイツ、ガルミッシュ・パーテンキルヒェンで開催されたアルパインスキー世界選手権大会期間中、バイエルン山岳救助サービスのボランティアスタッフはレッド/ブルーのバックパックを背負い、ピステの安全を守るため、コースに沿って配置されました。彼らが背負っていたモデルは、タトンカがスキー世界選手権のため、特別に100個作ったものです。

そのベースとなったモデルは、日本でも販売しているAT6175 アルパインガイド2(¥8,800)です。(下)



First Aid in the Mountains

山岳事故の応急処置

スキーヤーやハイカー、クライマーらがバイエルンのアルペン山脈で緊急事態に遭遇した際、最初に現場へ出動するのはバイエルン山岳救助サービスです。その設立は1920年にさかのぼり、1945年からはバイエルン赤十字社傘下の組織となっています。救急医師、医療補助員、さまざまな専門家（急流下りや洞窟救助隊、なだれ救助ドックチーム、緊急事態時の社会心理ケアを施す緊急治療処置チームなど）を含む4200人に上るボランティアスタッフが、毎年、山からの非常呼び出しに対応しています。昨年だけでも、6,202回の非常呼び出しに対し、緊急出動しました。緊急出動の多くはスキーやスノーボード事故の対応ですが、登山やマウンテンバイク時の事故もあります。もちろん、非常呼び出しがすべて重大事故とは限りません。複雑な医療手当が必要となる事故は多くはありませんが、中には重大な事故があるのも事実です。

(source: www.bergwacht.bayern.de)

Rucksacks for “Path of the senses”

「森の彫刻の小径」 ロタールシュタイク・ハイキングコースに最適なバックパック

ロタール山地の雄大な地形の中にあるロタールシュタイク・ハイキングコースは今年10周年を迎えます。このハイキングコースは、ロタールシュタイク・ハイキングコース設営チームにより、「変化に富んだルート」をコンセプトに作られ、全長は154キロメートルにも及びます。

冒険心豊かなハイカーに適切な装備を提供することもコースコンセプトのひとつです。ハイカーは、コース内に設けられた宿から装備を借りることが可能なことに加え、ロタールシュタイク・ハイキングショップのオンラインショップからも装備を購入することができます。

タトンカは6年連続で、バックパック作りのエキスパートとして、ロタールシュタイクのロゴ付きハイキングパックやアクセサリーのコレクション数点を製造し、パートナー協力をしています。

ロタールシュタイク・ハイキングコースの管理チームによって選ばれたバックパックは、タトンカの現在のコレクションの一部でもあり、「森の彫刻の小径」の別名をもつ、ロタールシュタイク・ハイキングコースだけでなく、幅広く使えるハイキング用バックです。



AT1523 ファロウ 30(¥13,000)

AT1821 ティバニーノ(¥6,500)

スポーティハイキングシェープの Farou ハイキングバックは、ワンデイハイキング（日帰りハイキング）に必要なものをすべて収納できる大きさです。X Vent Vario キャリーシステムを採用し、背負い心地も抜群です。女性の体型にも合わせたデザインです。クラシックシェイプの、子供（6歳から10歳）用 Tivanino ハイキングバックもあります。



AT6194 タンカアキス 40(¥14,500)

AT6188 エクスペディションライト 35(¥9,500)

容量40Lのツーリングバックパック Axis2 40は、数日間のハイキングツアーに必要なものを収納できるサイズです。調節可能なV1 ECO キャリーシステムによりパーフェクトフィッティングと優れた荷重分配を実現し、長時間歩行の疲れを軽減します。

Expedition 35は、1室式のシンプルな作りで軽量。コストパフォーマンスに優れています。

「森の彫刻の小径」-ロタール山地の独特なハイキングコース

中央ドイツには多くのすばらしいハイキングコースがありますが、中でも、中央ドイツ高地において、ロタル山地は最もすばらしく、樹木が生い茂った地帯のひとつです。

そこに走る「森の彫刻の小径」の別名をもつロタルシュタイク・ハイキングコースは、多様な地形と行き届いた整備が特徴で、他では体験できないハイキングを味わえ、冒険心をそそられるルートです。ザウアーランドのブリロンからディレンブルグのヘッシアンに至る、ロタル山地の北山頂からウェスターヴァルト山地へ沿った、全長 154km のコースです。コース全体に設置された独特なデザインのフォレストベンチやピクニックテーブルとイスで、ハイカーは小休止でき、堆肥トイレも利用できます。また、その土地の動植物について説明した表示板も多く設置され、ハイカーに情報を提供しています。

典型的なレインジャーハットを被った 6 人の森林警備隊がハイキング道とコース内設備を整備しています。有資格森林監督官たちは必要に応じてハイカーに助言を与えたり、森林や自然環境を保護するルールを監視しています。

ロタルシュタイクのレッド&ホワイトロゴは、コース歩道の目印だけでなく、コース内の宿もハイカーに示します。ハイカーのニーズにあったサービスを提供するコース内の宿では、装備も借りることができます。ロタルシュタイク協会によって実現された壮大なコンセプト、それが「森の彫刻の小径」ロタルシュタイク・ハイキングコースです。

そして、今年 5 月 10 日 10 周年を迎えます。

(Source:www.rothaarsteig.de)

